

5月の新着本

5月8日(土) 貸し出し開始

【一般図書】		
お探し物は図書室まで	青山 美智子	お探し物は、本ですか？仕事ですか？人生ですか？悩める人々が立ち寄った小さな図書室。不愛想だけど聞き上手な司書さんが思いもよらない選書と可愛い付録で人生を後押しします。『木曜日にはココアを』の著者が贈る、明日への活力が満ちていくハートウォーミング小説。
クララとお日さま	カズオ・イシグロ	ノーベル文学賞 受賞第一作カズオ・イシグロ最新作、2021年3月2日(火)世界同時発売! AIロボットと少女との友情を描く感動作。
コンジュジ	木崎 みつ子	二度も手首を切った父、我が子の誕生日に家を出て行った母。小学生のせれなは、独り、あまりに過酷な現実を生きている。寄り添えない絶望のなか、彼女の人生に舞い降りたのは、伝説のロックスター・リアン。その美しい人は、せれなの生きる理由のすべてとなって……。一人の少女による自らの救済を描く、圧巻のデビュー作。第44回すばる文学賞受賞作にして第164回芥川賞候補作。
花は散っても	坂井 希久子	母親離れができない優柔不断な夫・要一郎との生活に見切りを付けるべく、家を出た 美佐。谷中で、着物のネットショップ「薫や」を一人で切り盛りしている。ある日、実家の蔵を整理していると、筆筒に大切にしまわれた、祖母・咲子のものにしては小さすぎる銘仙を見つける。そして、謎の3冊のノートと、見たことのない美少女が 写った写真も……。
この気持ちもいつか忘れる 【付属CD貸出あり】	住野 よる	退屈な日常に絶望する高校生のカヤの前に現れた、まばゆい光。それは爪と目しか見えない異世界の少女との出会いだった。真夜中の邂逅を重ねるうち、互いの世界に不思議なシンクロがあることに気づき、二人は実験を始める。住野よるが学生時代から敬愛するTHE BACK HORNと、作品の構想段階から打ち合わせを重ね、創作の過程も共有し、双方向に影響を与え合うことで生み出された新しい形のコラボレーション作品。小説にTHE BACK HORNのCDがついた先行限定版。 CDは事務室受付にて貸出します！
この本を盗む者は	深緑 野分	“この本を盗む者は、魔術的現実主義の旗に追われる” 本の呪いが発動し、街は侵食されるように物語の世界に姿を変えていく。泥棒を捕まえない限り世界が元に戻らないと知った深冬は、探偵が銃を手に陰謀に挑む話や、銀色の巨大な獣を巡る話など、様々な本の世界を冒険していく。やがて彼女自身にも変化が訪れて――。
アトリエ雑記	牧野 伊佐夫	酒と料理、ときどき旅路。「暮しの手帖」「雲のうえ」や同人「四月と十月」で活躍する画家がペンを執りつづる、日々の生活の記録。 絵のこと・日々のこと・旅のこと・酒呑み料理帖の4章仕立て 日刊ゲンダイ連載「日雇い絵描きの愉しみ」を中心にエッセイ70余篇を収録
52ヘルツのクジラたち 【本屋大賞受賞作】	町田 そのこ	自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会い、新たな魂の物語が生まれる。 2021年本屋大賞受賞作
ワンダフル・ライフ 【スタッフおすすめ本】	丸山 正樹	事故で重度の障害を負った妻(49)を自宅で介護している「わたし」(50)。なんのために、こんなにも自由のない生活を続けているのか「わたし」の物語と、さまざまな悩みを抱える男女の物語が絡み合い、繋がる時、慟哭の真実が明かされる――
空芯手帳	八木 詠美	職場にキレて偽装妊娠。 理不尽な雑用、セクハラ、「女」だから演じるろくでもない役回り――ままならない現実を破壊するのは、私だけの赤ちゃん?> 女だからという理由で延々と雑用をこなす人生に嫌気がさした柴田は、偽の妊婦を演じることで空虚な日々にはさやかな変化を起こしてゆく。第36回太宰治賞受賞作。

★ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

※諸事情により、NHKテレビテキスト「きょうの料理」は令和3年4月号をもって配架を終了させていただきます。

なお、6月新着本は、6月12日(土)から貸出しいたします。

また、6月以降、新着本は隔月配架とさせていただきます。(詳細は後日お知らせいたします。)